

雲仙治山だより

発行・連絡先 / 長崎県島原振興局農林水産部林務課

〒855-8501 長崎県島原市内1-1205 電話 0957-63-5073

令和5年(2023)年

7月発行

(vol.14)

令和5年度 防災対策現地視察（水無川流域治山事業）で説明

梅雨期を前に島原市主催による防災対策現地視察が、5月12日、市長をはじめ防災関係機関（雲仙砂防管理センター、長崎森林管理署、警察、消防、島原振興局）約40名が参集し、眉山や水無川流域の砂防・治山事業の現状を確認し、災害発生時の迅速な連携・対応に役立つよう開催されました。

水無川流域の治山対策事業については、島原市杉谷公民館において、島原振興局林務課長より、令和3年度までのハード対策（治山ダム・航空実播工）、令和3年度からこれまでの水無川（炭酸水・極楽谷）の観測結果（土石流の発生がなかった等）を現地写真等で報告がありました。

また、今年度も雲仙地区治山対策検討委員会の提言を踏まえ、赤松谷本流、極楽谷、炭酸水谷における観測・調査を引き続き実施し、それらの情報発信を通じて「地域の安全・安心に寄与していく」ことを説明しました。

(写真-1)



写真-1：林務課長による説明

赤松谷本流・極楽谷・炭酸水谷における観測・調査を実施

～土石流の発生は確認されていません～

今年の梅雨入りは、平年より6日早い、5月29日ごろと発表されました。梅雨入り後、これまでの雨量は、6月24日から7月5日までの連続雨量306.5mm、6月30日の時間雨量22.5mmが最大となっています。

また、今年の4月以降では、5月3日から7日までの連続雨量252.0mmでしたが、5月6日の時間雨量29.0mmが最大となっています。

今回、第一四半期の定期観測を6月末までに行う予定でしたが、6月24日からの降雨によりドローンによる空撮が出来ませんでした。

このため、天候が回復した7月6日、第一四半期の定期観測と都度観測（連続雨量 280 mm以上）を兼ねて、赤松谷本流・極楽谷・炭酸水谷についてドローンで空撮を実施し、各溪流の変化を確認しました。

この結果、水無川流域の極楽谷・炭酸水谷および赤松谷本流の治山ダムへの土石流の発生及び土砂の異常堆積は、確認されませんでした。（写真-2～写真-4）



写真-2：赤松谷本流・極楽谷・炭酸水谷の状況

極楽谷・炭酸水谷の状況



写真-3：梅雨入り前【令和5年4月3日撮影】



写真-4：【令和5年7月6日撮影】